2027年3月期第2四半期（中間期）決算説明資料

2026年11月13日(金)

株式会社オーバル

目次

- １．2027年3月期第２四半期　連結業績
- ２．トピックス
- ３．参考資料



１．2027年3月期第２四半期連結業績

Summary

■ 第２四半期実績：受注高は過去最高水準

- 半導体関連業界向け、化学関連業界向けが好調かつ、中国船舶関連業界向けの需要拡大により、受注高は前年同期比29.5%増の9,215百万円（過去最高水準）
- Anton Paar GmbHとのライセンス契約一時金の反動により、前年同期比では減収減益。一方、単独（7～9月）では増収増益となり、第1四半期から回復

■ 下半期見通し：過去最高水準の受注残高を背景に通期予想は変更なし

- 受注残高案件の売上計上を見込み、通期業績予想に変更なし
- 年間配当は中間14円、期末14円の合計28円を予定
- 2028年3月期の配当計画（28円）を1年前倒し

Copyright © OVAL Corp. All Rights Reserved.

業績ハイライト

- サービス部門は堅調に推移したものの、前年同期におけるライセンス契約一時金計上の反動により、売上高は前年同期比1.1%減
- 営業利益は、同反動の影響等により前年同期比35.9%減となった

（百万円）

	2025年3月期 2Q	2026年3月期 2Q	2027年3月期 2Q	対前年増減額	対前年増減率
売上高	7,128	7,373	7,289	-84	-1.1%
売上原価	4,168	4,098	4,194	+95	+2.3%
売上総利益	2,959	3,274	3,094	-179	-5.5%
販管費	2,269	2,355	2,505	+150	+6.4%
営業利益	689	919	589	-330	-35.9%
営業利益率	9.7%	12.5%	8.1%	-	-
経常利益	624	957	610	-346	-36.2%
親会社株主に帰属する中間純利益	422	600	378	-221	-36.9%

Copyright © OVAL Corp. All Rights Reserved.

事業部門別受注高・受注残高

- センサ部門は、国内では半導体関連業界向けが好調。主要顧客である化学関連業界向けも底堅く推移、海外では中国において船舶関連業界向けおよび電池関連業界向けが好調
- システム部門は、石油関連業界向けなどの主要顧客を中心に好調に推移し、前年同期比63.9%増
- サービス部門は、保全サポートサービスおよび他社製品校正業務受託などの強化で堅調に推移

（百万円）

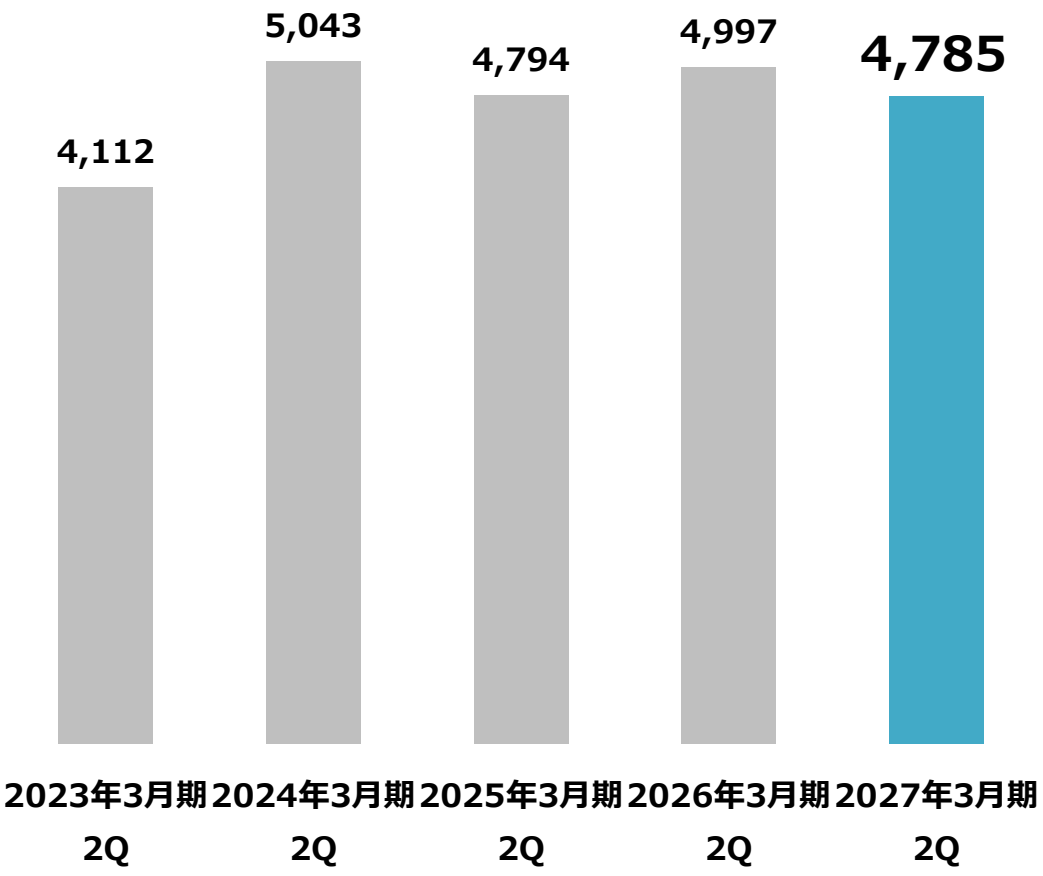
	2026年3月期 2Q	2027年3月期 2Q	対前年増減額	対前年増減率
受注高	7,117	9,215	+2,098	+29.5%
センサ部門	4,914	6,483	+1,568	+31.9%
システム部門	626	1,026	+400	+63.9%
サービス部門	1,576	1,706	+129	+8.2%
受注残高	4,701	6,428	+1,726	+36.7%
センサ部門	3,213	4,362	+1,148	+35.7%
システム部門	1,313	1,941	+627	+47.8%
サービス部門	174	125	-48	-28.1%

Copyright © OVAL Corp. All Rights Reserved.

事業部門別売上高（センサ部門）

センサ売上高推移

単位：百万円



国内

- 半導体関連業界向けが好調かつ、主要顧客である化学関連業界向けが堅調

海外

- 中国の船舶関連業界向けおよび電池関連業界向けが好調
- 前年同期におけるライセンス契約一時金計上の反動により、減収

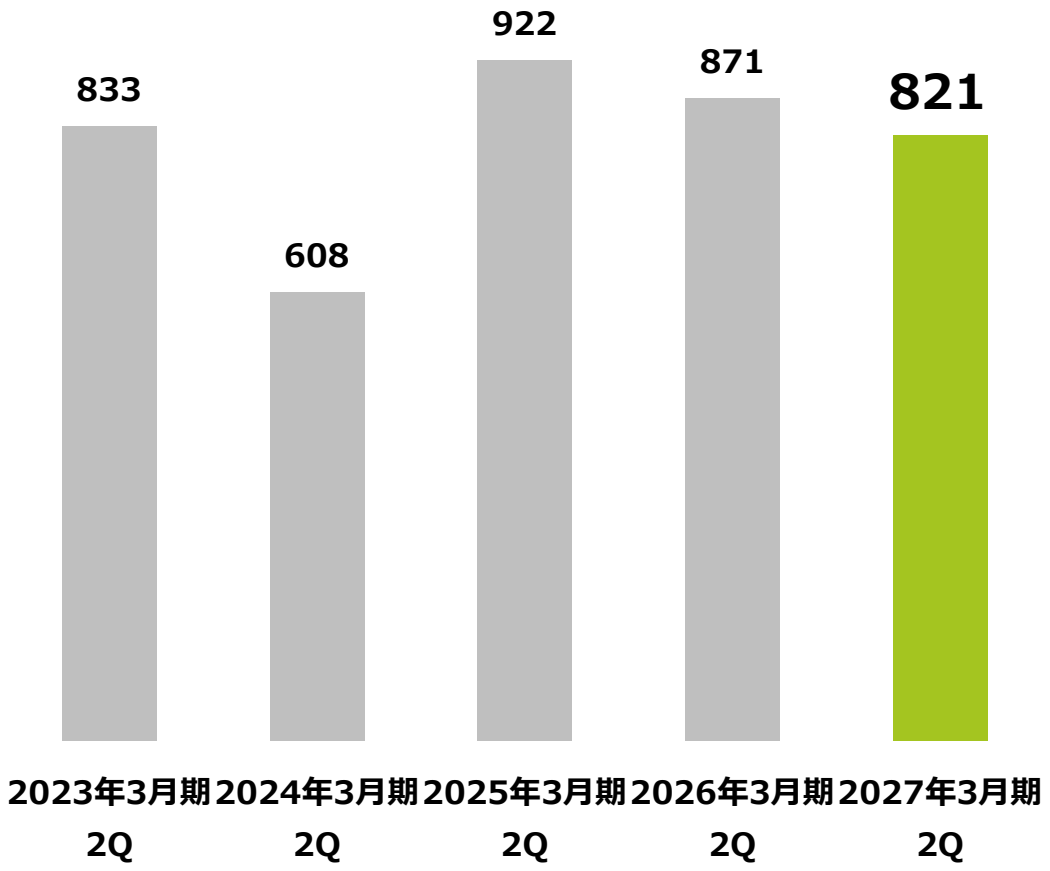
前年同期比 **-4.2%**

Copyright © OVAL Corp. All Rights Reserved.

事業部門別売上高（システム部門）

システム売上高推移

単位：百万円



国内

- 石油関連業界向けの大口案件を売上計上したものの、進捗度に応じて収益を認識する一部案件の売上計上時期が第3四半期以降となったことから減収
- 受注高は主要顧客である石油関連業界向けを中心に好調に推移しており、豊富な受注残高を背景に今後の売上計上を見込む

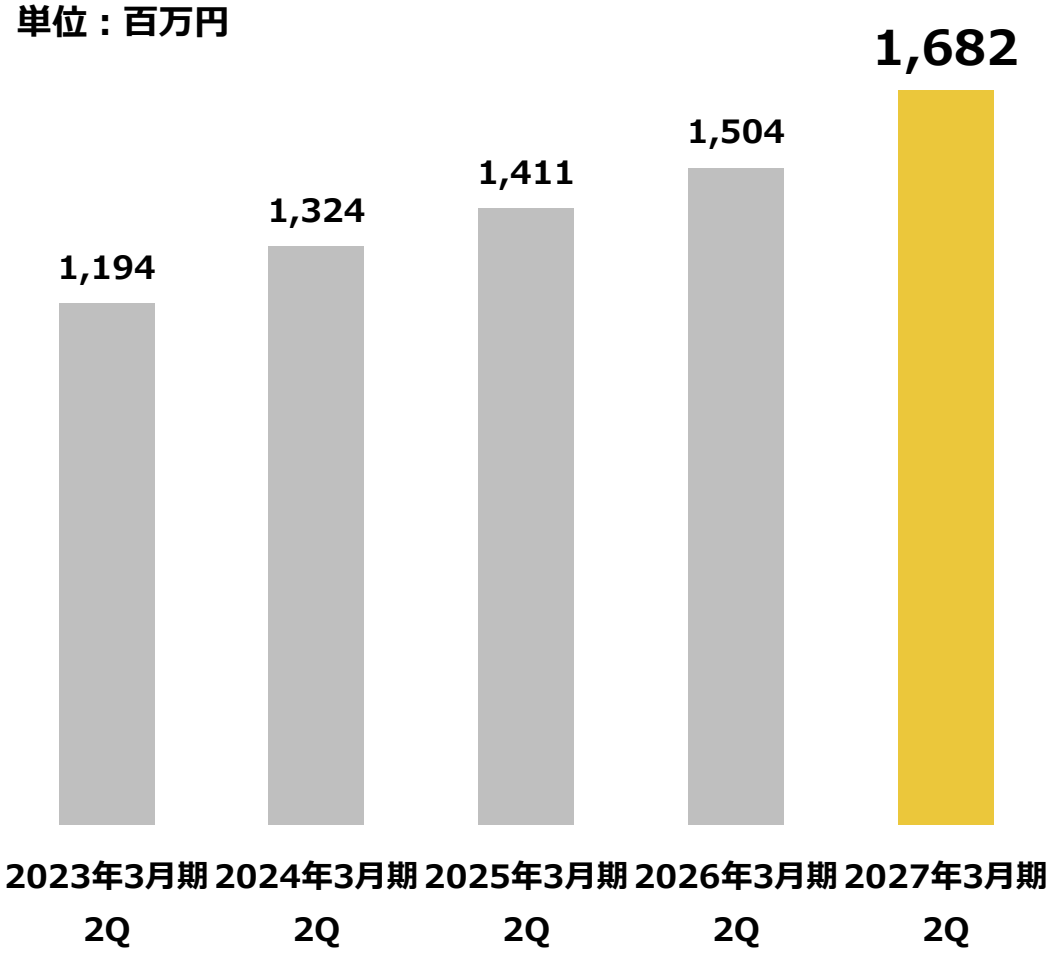
前年同期比 **-5.8%**

Copyright © OVAL Corp. All Rights Reserved.

事業部門別売上高（サービス部門）

サービス売上高推移

単位：百万円



国内

- 主要顧客の化学関連業界向けおよび石油関連業界向けの売上が好調を維持
- 現地流量計校正サービスおよび他社製流量計校正サービスなど顧客のニーズに応じたきめの細かい対応を継続
- 人件費上昇などを踏まえた価格適正化

前年同期比

+11.8%

Copyright © OVAL Corp. All Rights Reserved.

出荷元の国別売上高

(百万円)

	2026年3月期 2Q	2027年3月期 2Q	対前年増減率
日本	6,023	5,774	-4.1%
海外	1,350	1,515	+12.2%
中国	410	521	+27.1%
台湾	96	85	-11.5%
韓国	366	376	+2.7%
シンガポール	338	367	+8.6%
マレーシア	89	112	+25.8%
米国	47	52	+10.6%
合計	7,373	7,289	-1.1%

主な増減要因

日本

■**センサ部門**
前年同期におけるライセンス契約一時金計上の反動により、減収
※出荷元ベース。ライセンス一時金は日本に含む

海外

■**センサ部門**
中国において船舶関連業界向けおよび電池関連業界向けが好調に推移

Copyright © OVAL Corp. All Rights Reserved.

連結貸借対照表

(百万円)

	2026年3月末	2026年９月末	前期末比
流動資産	12,425	12,132	-293
固定資産	12,285	12,435	+149
資産合計	24,711	24,567	-144
流動負債	4,207	3,626	-580
固定負債	4,288	4,294	+5
負債合計	8,495	7,920	-574
純資産	16,215	16,646	+430
負債・純資産合計	24,711	24,567	-144

主な増減要因

流動資産

現金及び預金　-900
受取手形及び売掛金　+338
商品及び製品　+234

固定資産

建物及び構築物　+479

流動負債

賞与引当金　-206
その他　-352

純資産

利益剰余金　+175

Copyright © OVAL Corp. All Rights Reserved.

2027年3月期　通期連結業績予想

(百万円)

	2026年3月期 実績	2027年3月期 業績予想	前期末比	増減率
売上高	15,589	16,000	+410	+2.6%
営業利益	1,703	1,800	+96	+5.7%
経常利益	1,771	1,900	+128	+7.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,400	1,420	+19	+1.4%

売上高見通し

過去最高水準の受注高を背景に増収を見込む

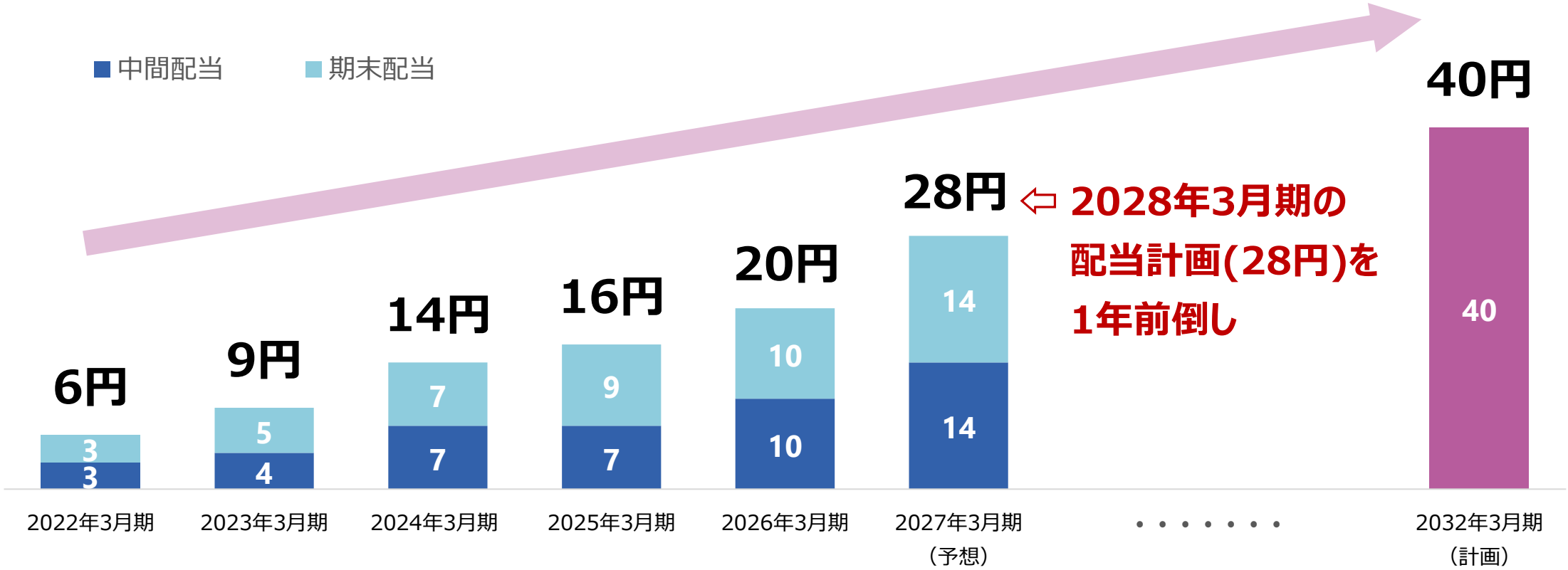
利益見通し

販売単価の改善およびシステム部門の収益性の改善などにより、いずれの利益も2026年3月期を上回る見通し

Copyright © OVAL Corp. All Rights Reserved.

株主還元 - 配当

「Imagination2028」の進捗を反映し、利益還元強化を決定
2028年3月期配当計画（28円）を2027年3月期に1年前倒し予定



配当性向	47.0%	31.1%	28.5%	34.8%	30.8%	約40%

Copyright © OVAL Corp. All Rights Reserved.



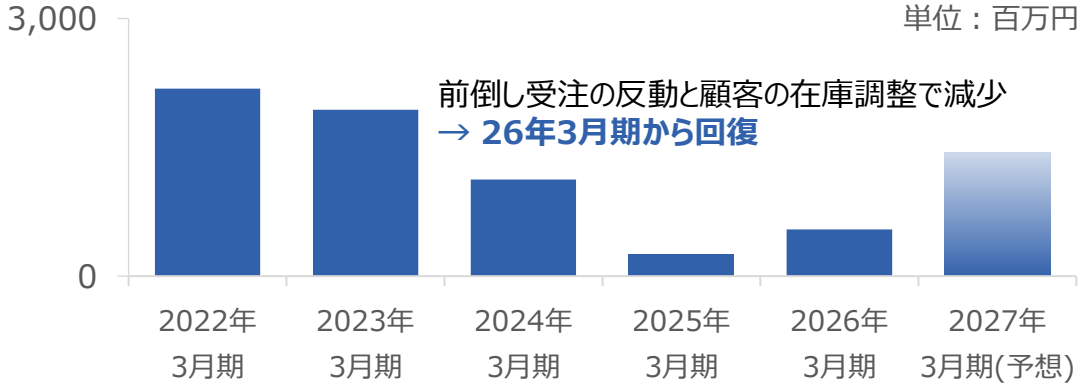
2．トピックス

トピックス①　半導体製造装置向け需要の拡大

半導体業界向けに販売活動を強化

- 半導体市場の設備投資拡大を背景に、当社の流量計が半導体製造装置の様々なプロセスで採用
- 薬液・純水・ガスなど各種ユーティリティの精密な計測ニーズが増加

半導体業界向け受注高の推移





今後の見通し　AI・データセンター向けなど半導体市場の中長期的な成長に伴い、半導体製造装置向け需要は引き続き拡大する見込みです。

当社の計測技術で半導体の進化と社会の発展に貢献

Copyright © OVAL Corp. All Rights Reserved.

トピックス②　新製品投入

時代の流れに対応した主力製品のモデルチェンジと新たな市場へ新製品投入

新製品・リニューアル製品の売上高

「Imagination2028」 対2025年３月期比30%増（2028年3月期）



ALTImassⅡPLUSが解決

視認性向上
高解像度LCD
多言語対応

操作性向上
静電容量式タッチスイッチ
直感的UI

保守性向上
スマホから遠隔操作
点検・設定を迷わず、スムーズに

主力製品であるコリオリ流量計 ALTImassⅡをベースに視認性・操作性・メンテナンス性を向上させた
新製品「ALTImassⅡ PLUS」を2026年10月に発売開始

Copyright © OVAL Corp. All Rights Reserved.

トピックス③　中国事業の拡大

アジアNo.1のセンシング・ソリューション・カンパニーを目指し、設備投資を実施



中国連結子会社　新工場開設
-中国での現地製造・現地販売体制の増強-

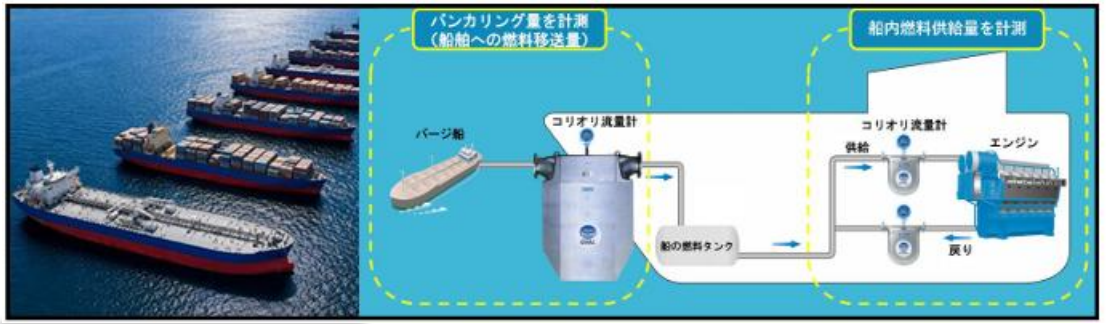
- 中国市場において、リチウムイオン電池、船舶、化学、エネルギー等の分野で流量計需要が拡大
- 増大する現地需要に対し、顧客ニーズを的確に捉えた製品を迅速に供給するべく、現地生産キャパシティを強化することで、グループ生産性を向上



新工場外観



新工場竣工式



造船業向け
大口受注

小流量から大流量のまでの
幅広い口径のコリオリ流量計を、
合計約500台納入予定

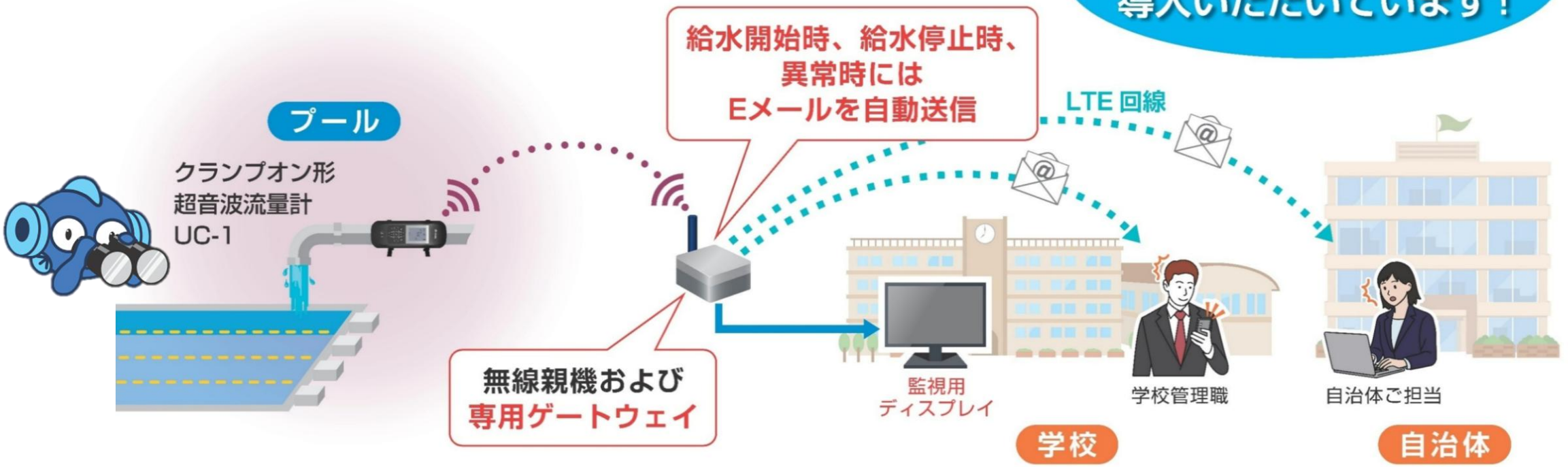


Copyright © OVAL Corp. All Rights Reserved.

トピックス④　プール給水監視システム

学校プールの給水状況を「見える化」

既に複数の公立学校に
導入いただいています！



機能

給水開始／給水中／給水停止の状態監視
流量・累積水量・給水時間・設定時間超過の検知
監視画面でのリアルタイム表示、メール通知
（給水の開始時や停止時など）

特長

配管の外側に巻き付けるだけ、かつ電池式
→既設配管の切断・改造や電源工事が原則不要

給水配管の運用を止めにくい学校環境でも
短時間で導入しやすい！

Copyright © OVAL Corp. All Rights Reserved.



3．参考資料

会社概要

会　社　名	株式会社オーバル
創　　立	1949年5月10日
資　本　金	22億円（スタンダード市場上場）
連結子会社	11社（国内4社、海外7社）
従業員数	688名　（2026年9月30日現在）



本社
東京都新宿区



創業者
加島　淳

沿革
history

1949	オーバル機器工業(株) 創業
1961	東京証券取引所市場第二部に上場
1992	社名を(株)オーバルに変更
2014	東京証券取引所市場第一部に指定替え
2023	東京証券取引所スタンダード市場を選択
2024	創立75周年を迎える
2025	中期経営計画「Imagination2028」を公表



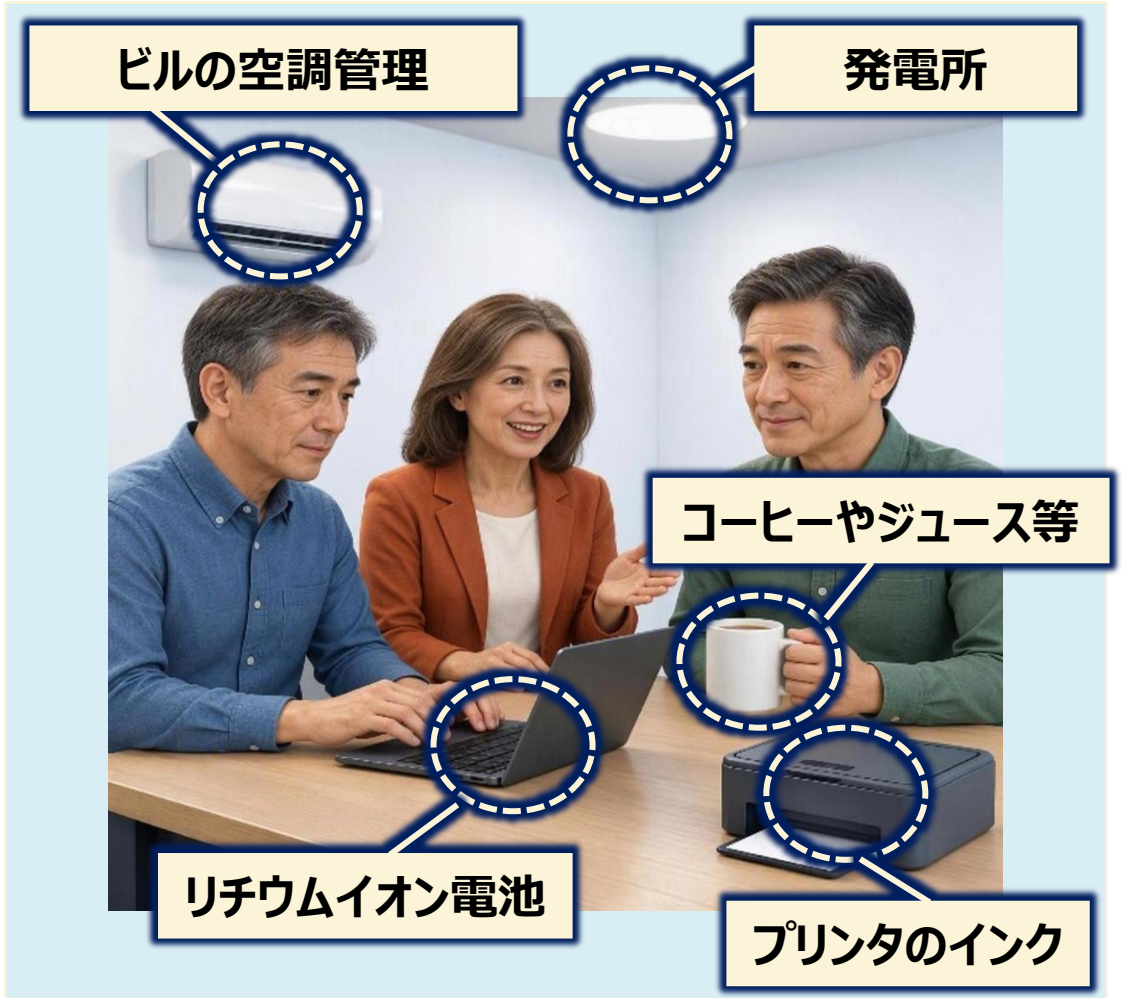


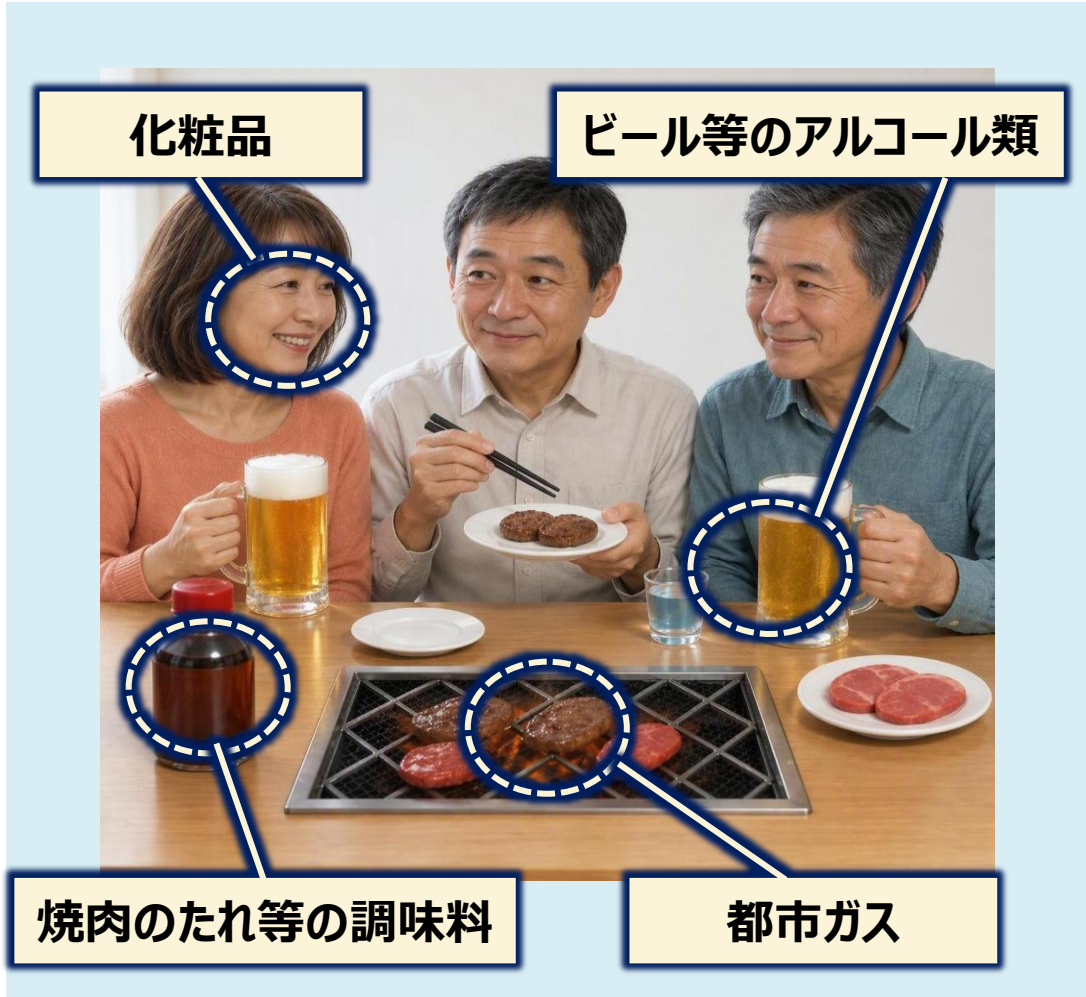


Copyright © OVAL Corp. All Rights Reserved.

こんなところにも「オーバル」

オーバルは、“流れるもの” を計測する“流量計”をはじめ、その他システムソリューションなど、“流体”に関するビジネスを1949年の創業以来70年以上行ってきた企業です。私たちの暮らしはとても便利になり、製造業においても、生産設備のAI化やIoT化が進んでまいりました。モノづくりの自動化には、流量計などのセンサが不可欠です。オーバルは産業を支えるマザーツールのメーカーとして長年培ってきた技術を社会に提供しています。

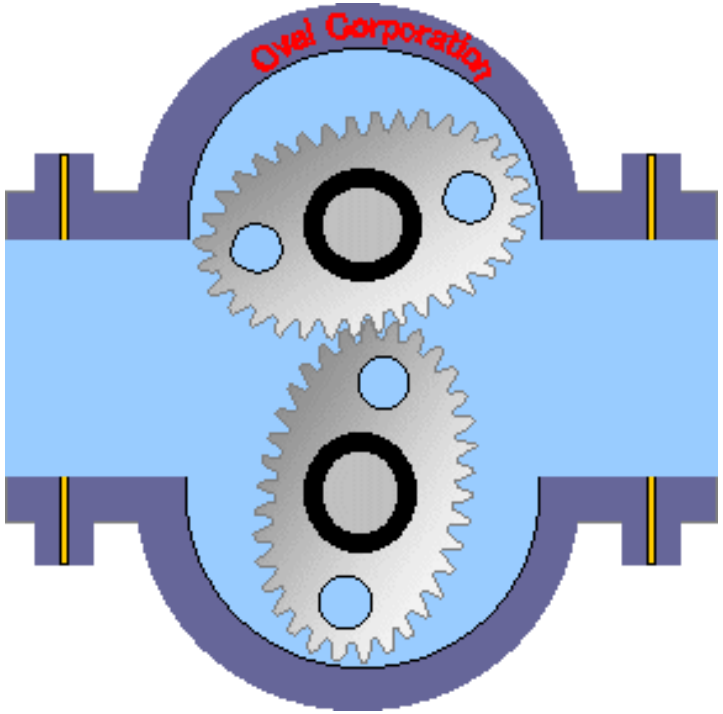




Copyright © OVAL Corp. All Rights Reserved.

社名の由来：オーバル歯車

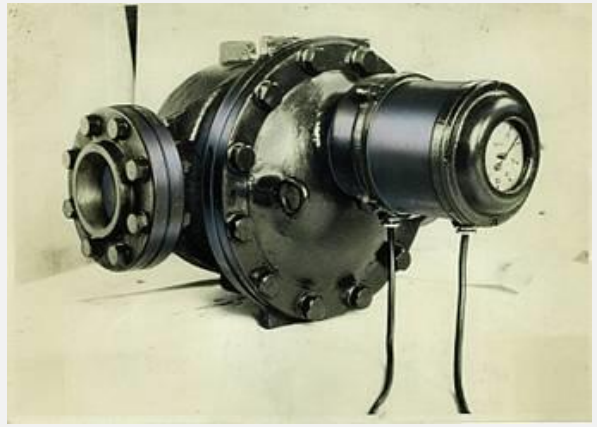
内部構造



現在のオーバル流量計（ULTRA OVAL TypeS）



初期のオーバル流量計



Copyright © OVAL Corp. All Rights Reserved.

国内外拠点

国内

- 営業所　：18か所
- サービス：6か所





山梨オーバル

オーバル本社

京浜計測

オーバル横浜事業所

宮崎オーバル





海外

■拠点：8か所

OVAL ENGINEERING INC.
(韓国)

合肥オーバル儀表有限公司
合肥オーバル自動化制御システム有限公司
(中国)

OVAL Corporation of America
(米国)

Oval (Thailand) Limited
(タイ)

OVAL TAIWAN CO., LTD.
(台湾)

Oval Engineering Sdn Bhd
(マレーシア)

OVAL VIETNAM JVC, LTD.
(ベトナム)

OVAL ASIA PACIFIC PTE LTD.
(シンガポール)

Copyright © OVAL Corp. All Rights Reserved.

経営理念、中長期経営ビジョン

経営理念

確かな計測技術で、新たな価値を創造し
豊かな社会の実現に貢献します

中長期経営ビジョン

アジアNo.1の
センシング・ソリューション・カンパニーへ

※アジアNo.1＝アジアに本社（資本）が所在する企業のNo.1

Copyright © OVAL Corp. All Rights Reserved.

オーバルの３つの事業

サービス事業

製品のフィールド対応、修理、
メンテナンスおよび校正事業(JCSS含む)

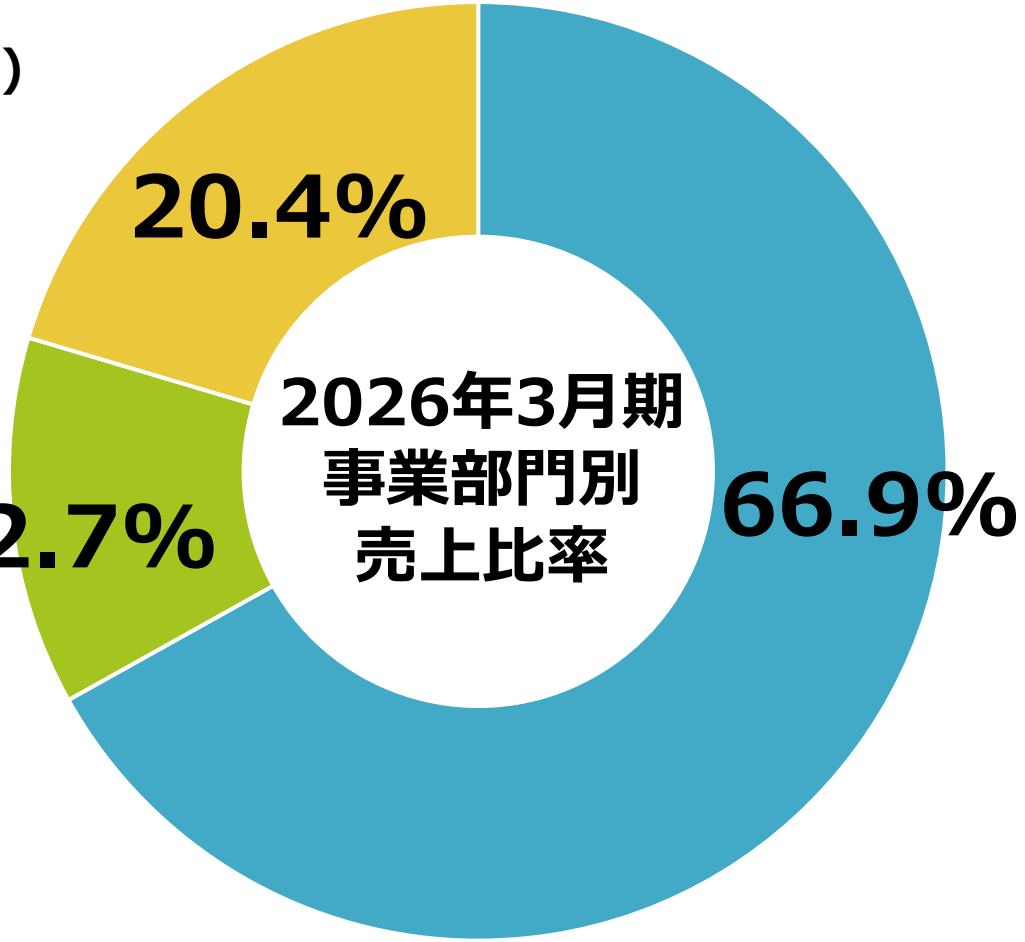



システム事業

流体計測制御に関連する製造、
出荷、検査、分析等のシステム装置の
設計、開発、販売･施工




売上高
15,589百万円



センサ事業

流量計をはじめとする計量計測
機器および関連機器の製造販売





Copyright © OVAL Corp. All Rights Reserved.

オーバルの強み

景気変動に強い顧客基盤

- 電力・ガス、石油化学、食品、半導体、二次電池など幅広い業界に分散

時代の変化への対応力

- 機械式（アナログ）から 電子式（デジタル）まで幅広い製品群
- 水素・半導体など時代のニーズに合わせて成長分野にも対応

長年培った流体計測技術

- 1949年創業以来、長年蓄積した技術・実績・信頼
- 6種類の原理別流量計を保有し、幅広い対応が可能

  → 参入障壁**高**

設計から保守までワンストップ対応

- 流量計、周辺機器、システム構築、校正、保守まで一貫対応
- 受注設計による付加価値の提供

Copyright © OVAL Corp. All Rights Reserved.

所属選手　クロスカントリースキーヤー　宮崎日香里選手



クロスカントリースキーヤー
宮崎日香里選手

生年月日：1998年8月21日
出身地　：長野県下高井郡山ノ内町

主な競技成績

2026年　Far East Cup 2025/2026　総合優勝
2024年　FIS Cross-Country Far East Cup　クラシカル 優勝
2023年　特別国民体育大会スキー競技会
　　インターバル、クラシカル、リレー 優勝
　　特別国民体育大会スキー競技会　インターバル、クラシカル 2位
2022年　全日本選手権　マススタート、クラシカル 優勝
2020年　とやま・なんと国体　女子リレー 優勝



Coop FIS Cross-Country World Cup
日本代表に選出

PARTNERSHIP

OVAL × SPORTS FOR SDGs

Far East Cup 2025/2026
総合優勝（2連覇）
ワールドカップ出場権獲得



Copyright © OVAL Corp. All Rights Reserved.

本資料の取り扱いについて

- 本書には、当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社グループは、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社グループ以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。